

チーム活動再開ガイドライン

一般社団法人日本ラグロソ協会

2020年6月30日現在

本ガイドラインは、チームのグラウンド活動の再開における段階的な進め方を纏めた資料です。

- ① 政府・自治体・大学の方針や衛生環境基準を満たしていることを前提とします。
- ② 各チームがラグロス活動再開時の対策を検討するための最低限の水準を提示するもので、安全基準ではありません。
- ③ 各ステージの内容と対策方法は、今後の状況に合わせて柔軟に見直し・追加の実施を行います。

●チーム活動のステージ

次のステージに進むまでに、2週間程度の間隔を空けるようにしてください。

ステージ1	個人練習(コンタクト無し)
ステージ2	少人数でのチーム練習(コンタクト無し)
ステージ3	少人数でのチーム練習(コンタクト有り)
ステージ4	中規模でのチーム練習
ステージ5	他チームとの練習試合

●各ステージにおける活動例と実行すべき対策

対策は、各ステージの活動例において、特に注意すべきものを記述しています。

ステージが上がるごとに実行すべき対策が増えていきます(ステージ5は、ステージ1~5の全対策が注意すべき対策となります)。

ステージ1	個人練習 (コンタクト無し)	●1人~数人程度 (例:トレーニング、キャッチボール)	・感染症防止の基本対策の徹底(※1) ・当日朝の体温測定 ・移動時・練習時の、手洗・咳エチケット ・洗っていない手で、目・鼻・口をこすらない
ステージ2	少人数でのチーム練習 (コンタクト無し)	●10人以下(スタッフも含む) ●2m以上離れる (例:パス練習、シュート練習、接触の無いグラウンドボール練習)	・クロス、スクイズボットル、マウスガードは自分のものを使用し、他人のものに触れないようにする ・ハイタッチ、握手はしない ・グラウンド、関係諸室での3密対策 ・小さく集合してのミーティングは避ける ・コーチ、チームスタッフはマスクを着用 ・参加者名簿の作成(感染者発生時の対応で使用/※2)
ステージ3	少人数でのチーム練習 (コンタクト有り)	●20人以下(スタッフも含む) ●プレー内容に制限を設ける (例:2on2、カナディアン(3on2)、6on6)	・選手の待機場所を分散 ・コーチや待機選手は叫ばない (拡声器が使用可能な施設は活用を検討(メガホンは不可)) ・コンタクトプレーのメニューは体力の回復に合わせて、段階的に人数・強度を上げる
ステージ4	中規模でのチーム練習	●ハーフコートあたり25人以下(スタッフも含む)。同一グラウンドで50人以下。 (例:チーム内のスクリメッジ、紅白戦)	・試合前後、試合中での円陣は、密集・声掛けを避ける ・ベンチエリアでは、可能な範囲で間隔を空ける
ステージ5	他チームとの練習試合	●同一グラウンドで51人以上の練習 ●他チームとの練習試合	・不要な地区を跨ぐ移動は避ける ・貸切バスを使用する移動は、適切な対策を行う(※3)

* チーム活動への参加については、選手及びスタッフの意思を最大限尊重した上で行ってください。

* 本ガイドラインの各ステージとは別に、選手の体力状況に応じて運動強度を調整してください。

* 運動強度が下がっている状況からの再開となるため、このガイドラインと関係なく、各チームで熱中症の対応を行ってください。

* 合宿などの宿泊を伴う活動に関しては協議中です。別途連絡致します。

※1 別紙『基本対策ガイドライン』を参照してください。

※2 別紙『チーム活動における感染者発生時の対応』を後日公開いたします。

※3 別紙『集団での移動の注意事項』を後日公開いたします。

以上